



スオスダイ！ (こんにちは)

主の御名を賛美いたします。私たちは2015年3月に日本バプテスト連盟より派遣され、2023年3月までの8年間でカンボジアで宣教活動を行ってきました。

2023年4月、CBU（カンボジアバプテスト連合）より招へいを頂き、主の導きとみ言葉によってカンボジアの地で宣教活動を続けています。ただ、CBUからの生活支援はありませんので、日本の教会や個人の方と祈りにつながり、具体的な支援の中で宣教活動を続けられるように願い、祈っています。

2024年から2025年へ

皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年もカンボジアで新年を迎えることができました。皆さまのお祈りとご支援に心より感謝しています。新しい年も先立って歩まれる復活の主イエスキリストから目を離さずに、主の宣教に励んでいきたいと願っています。

年未年始、日本は各地で例年より寒さが厳しかったようですが、カンボジアの12月も例年よりも涼しかったです。以下、昨年11月と12月の出来事を中心にお伝えしていきます。



2024年11月、横浜オンヌリキリスト教会が訪問
子ども市場の後で記念写真

賛美歌「タエントエ」（いつも）

この讃美歌は東京都町田市にある教会「ジーザス・ファミリー・チャーチ」が作詞作曲した子ども向けの曲です。昨年夏にこの教会へ訪問した時、初めて耳にしました。ぜひ私たちの教会の子どもたちに紹介したい、一緒に賛美したいという思いが与えられ、クメール語に翻訳しました。日曜学校でこの「タエントエ」（いつも）を紹介してから、子どもたちはこの讃美歌が大好きになり、毎週礼拝で賛美するようになりました。



日曜学校にて賛美「タエントエ」を練習

あなたはわたしの魂を死から わたしの目を涙から わたしの足を突き落とそうとする者から
助け出してくださった。命あるものの地にある限り わたしは主の御前に歩み続けよう。

詩編 116：8-9

その後、9月から始まった青年たちの音楽クラスにて、練習曲としてこの「タエンタエ」を選びました。一方子どもリーダーは、曲の振り付けの練習をスタートしました。そんな中、知り合いの宣教師から合同子どもイベントの話を受けました。「子どもたちによるパフォーマンスをしてほしい」という奉仕の依頼を頂いたのです。そこで、ちょうど練習をはじめた「タエンタエ」を、子どもリーダーが歌とダンス、青年たちが楽器で演奏する形で、特別賛美としてささげようという話になりました。神様の導きに感謝します。



「タエンタエ」を振りつきで賛美する子どもリーダー



青年たちと子どもリーダーによる「タエンタエ」

子どもリーダーと青年たちは、合同子どもイベントのために一生懸命練習してきました。学校で音楽を習ったことのない子どもたち、青年たちがここまでできるようになったのは、主の恵み以外の何ものでもありません。「タエンタエ」は今、私たちの教会の子どもたちも、青年たちも大好きな賛美歌になりました。このような素敵な賛美と出会わせてくださり、更に子どもイベントへの奉仕へと導いてくださった神様に心から感謝いたします。

合同子どもイベント

10月20日曜日、プノンペン市内で複数教会合同による子どもイベントが行われました。プノンペンと地方の教会から、昨年を超える100人以上の子どもたち、ユースたちが参加しました。私たち、CBUオフィス教会からは40名近い子ども達が参加しました。子どもリーダー、そして青年とおそろいのTシャツに身を包み、堂々と喜んで賛美の奉仕を担いました。



プノンペンと地方の教会から100名以上の子ども、青年たちが参加しました。

横浜オンヌリキリスト教会 ミッションアウトリーチ

11月初旬、横浜オンヌリキリスト教会より、西山慎一牧師をはじめとする6名のチームが訪問され、4拍5日の日程で宣教活動をされました。キングフィールド近くの集落訪問では、集落にある広場を利用して、手品や寸劇による伝道活動をされました。この集落で野外伝道集会を行ったのは初めての事です。多くの子どもたち、住民の方々がイエス様の福音を聞くことができました。



キングフィールド近くの集落にて野外伝道集会



西山慎一牧師（右から三番目）とチームの皆さん
ギターとカホンが献品されました。

主日礼拝では、青年たちがずっと願っていたギターとカホンが献品されました。これから、青年たちの活動に大いに用いられていくことでしょう。

横浜オンヌリ教会のチームの皆さん、今回、横浜からたくさんの祝福を届けてくださり本当にありがとうございました。また、カンボジアでお会いしましょう！

ABWUカンファレンス

10月28日、プノンペン市内でABWU（アジアバプテスト女性連合）による国際大会が行われました。CBUからはもちろん、東南アジア各国のバプテスト連盟から100名を超える女性メンバーが参加されました。各国の活動紹介や文化パフォーマンス、メッセージなど盛りだくさんの内容でした。

私たちはケマさん、スレイモムさんと共に、ミニストーリー物品販売のブースにてマクラメプラントハンガーを販売しました。「希望の糸」が広がる機会を頂いたことに感謝しています。



ABWUカンファレンス、物品販売コーナーにてケマさん（中央）とスレイモムさん（左）

はじめてのユース礼拝

11月、CBUオフィス教会にて初めてユース礼拝が行われました。ユースが全ての礼拝奉仕を担う礼拝です。メンバーたちと祈りながら、神様の助けによって、賛美と楽器演奏の練習を少しずつ重ねてきました。そして11月最後の主日、神様は青年の賜物を用いて、主日礼拝を導いてくださいました。

司会の青年、賛美リードする青年、楽器担当の青年、聖書朗読の青年、皆が心を一つにして、共に主に仕えるという恵みの時となりました。子どもたちも大人たちも、その青年達の姿に心燃やされながら共に礼拝をおささげすることができました。



礼拝後、楽器の練習に励むユースメンバーたち

礼拝では、主の前に立ち、主のために奉仕を担うユースたちの成長した姿に皆驚いていました。これら全ては、神様のなされる御業、恵みでしかありません。

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。
しかし、成長させてくださったのは神です。」

1コリント3：6

これからの教会を担っていくユースたちの更なる成長のために、どうぞお祈りください。



礼拝賛美の様子。女性メンバーが歌、男性メンバーが楽器演奏を担当

12月29日、CBUオフィス教会でクリスマス礼拝が行われました。子どもたちと青年たちが、この日までキリスト降誕劇の練習をしてきました。子どもたちがコスチュームを着て踊り、子どもリーダーと青年たちが楽器演奏を担当しました。

今年は、子どもたちによる演劇に加え、子どもリーダーと青年によるピアノやリコーダー、ギターやカホンの演奏を初めて取り入れ、音楽コンサートさながらのキリスト降誕劇となりました。参加された方の中には子どもたちの両親が多く見られ、今回初めて教会に来てくださいました。ご両親は、わが子が普段とは違った姿で、堂々と喜んで演技をしている姿に驚き、感動している様子でした。

年末のクリスマス礼拝



クリスマス礼拝の様子。コスチュームに身を包んで賛美する子どもたち

カンボジアでもキリスト教に抵抗を感じている親は多くいます。しかし、教会でイエス様に出会うことで子どもたちの中で何かが変わってきたように、ご両親の中でもキリスト教に対するイメージが変わり、イエス様につながっていく者が起こされると信じています。今回をきっかけに、子どもたちの両親も教会につながってくれることを祈るばかりです。



キリスト降誕劇を演じてくれた子どもたち



子どもたちのご両親が見に来てくれました。

また、11月に合同子どもイベントを開催された、ホライオス・バプテスト教会からのゲストも参加してくださいました。総勢100名を超える方々と共に、皆でイエス様の誕生を覚え、礼拝をおさげすることができました。神様の大きな恵みと祝福を頂いた素晴らしいクリスマス礼拝となりました。主の導きに感謝します。

来主と栄主の学校生活

来主と栄主は、プノンペン市内のミッションスクール（ホープインターナショナルスクール）に通っています。現在、来主は高校1年、栄主は中学1年生です。また栄主は週1回、プノンペン日本語補習校にも通っています。

高校生の来主は、必修科目である”VIA”というボランティア活動に参加しています。この科目は、学校が定めた時間、期間を通して様々な奉仕を担うという課題授業です。キリスト教の弟子訓練の一環で、自らの時間を神様にお献げする貴重な体験となります。例えば、学校の生徒会活動、クラブ活動のコーチ、あるいは教会の奉仕などを担います。この課題を通して来主は、私たちの宣教活動紹介動画を作成したり、日曜学校の準備を手伝ったりしてくれています。

一方、栄主は補習校で10月下旬に盆踊り大会に参加し、栄主の学年は「チョコバナナ」売り場を担当しました。



盆踊りのチョコバナナ売り場にて
クラスメイトと仕込み作業をする栄主

栄主はクラスメイトと共にチョコバナナの仕込みや販売に汗を流しました。多くの方にバナナを購入してもらい、完売となりました。

二人とも無事に前期の授業過程を無事に終了し、ホープスクールではクリスマスに合わせて3週間の休暇に入りました。来主も栄主も、学業、スポーツ活動共にとても充実した時を過ごすことができました。皆さまのお祈りに感謝いたします。

<祈りの課題>

1. CBUオフィス教会の子どもたち、青年たちが主の恵みによって更に成長するように。
2. キリングフィールド近くの集落と教会付近の地域が、福音によって変えられるように。
3. 女性支援活動「希望の糸」新デザイン「アンコールワット」が広がっていくように。
4. 宣教活動と生活、子どもたちの学費などの経済的必要性が、全て満たされるように。

嶋田 和幸・嶋田 薫 (CBU宣教師)、来主 (くろす、16歳)、栄主 (えいす、12歳)

(連絡先) Eメールアドレス

dekakurosu3927@gmail.com

Youtube : <http://www.youtube.com/@livingfield3927>

(献金振込先) 楽天銀行 ノエル支店 (支店番号 246)

口座番号 1081064 シマダ カズユキ

